

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
12	下田 良秀（5）	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた上での選挙管理について</p> <p>現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が蔓延する事態となり、ワクチンの開発に光明が見えてきているものの、終息のめどはまだ立っていない。</p> <p>このコロナ禍の中で、選挙を行った各自治体では、3密を避ける、消毒や換気の徹底等の感染症対策を行うなど、様々な努力をしていることと考える。</p> <p>しかしながら、多くの自治体において投票率の低下が問題になっている。感染のリスクを負うことから投票を嫌厭する方がいる中で、感染症対策及びその内容の周知が必要になっていると感じている。</p> <p>富士市でも、本年4月に衆議院小選挙区選出議員補欠選挙（静岡県第4区）があったが、投票率は前回と比べて大幅に下がる結果となった。</p> <p>全国的には、期日前投票が増加しているものの、投票率自体は下がっている自治体が多いという投票行動に変化が出ているとのことである。</p> <p>来年は多くの選挙が予定されている年であり、前回の経験を生かして、安全な選挙管理と投票率の低下を防ぐための準備や対策が不可欠と考え、以下質問する。</p> <p>(1) 本年4月に行われた衆議院小選挙区選出議員補欠選挙において、どのような投票行動の変化があったのか。また感染症対策や投票率アップのためどのような取組を行ったかを伺う。</p> <p>(2) 今後の選挙において安全に投票を行い、投票率の低下を防ぐための方策についてどのように考えているかを伺う。</p>	市長 及び 担当部長等